

2008年1月7日

お客様各位

フィデリティ投信株式会社

### 弊社投資信託の基準価額下落について

1月4日(金)、以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%を超えて下落しましたので、ご報告いたします。

ファンド名	1月4日 基準価額	12月28日 基準価額	騰落率
フィデリティ・アジア株・ファンド	30,020円	31,898円	5.89%

当ファンドの1月4日(金)の基準価額は、1月3日(木)のアジア株式市場の株価で決まりますが、今回の基準価額の下落は、1月3日(木)のアジア株式市場の株価が、12月27日(木)(12月28日(金)の基準価額算出に使用される株価)と比較して下落したことに起因しております。また、基準価額の算出に用いる円の対ドルレートが、4日に109.28円と前営業日(12月28日)の114.15円に比べ約4.46%のドル安・円高となったことも大きなマイナス要因となりました。

#### 2007年12月27日から2008年1月3日のアジア株式市場騰落率

	ドルベース	円ベース
MSCI AC ファー・イースト・フリー (除く日本、配当込み)	2.52%	6.68%

円ベースは基準価額算出に用いているTTMにて計算。

12月27日から1月3日のアジア株式相場は、米国のサブプライムローン(米国の信用力の低い個人向け住宅融資)に関連した損失の拡大や米国景気の先行き不透明感の台頭を背景とした世界株式相場下落の影響を受けて調整しました。また中国株式相場については2007年に上昇が続いていたことから、当局の相場過熱に対する懸念や投資家の売り圧力が高まっていたことも下落の要因となりました。

今後の市場の動きは慎重にみていく必要がありますが、弊社の運用方針に変更はございません。ボトム・アップ・アプローチを採用する弊社では、継続的に企業のファンダメンタルズ分析を行い、バリュエーションを常時モニターしながら、中長期的にベンチマークを上回るパフォーマンスを可能とする企業の選択に注力してまいります。

お客様におかれましては、引き続きご愛顧のほど、お願い申し上げます。